

福井県立大学・経済学部特別セミナー開催のお知らせ

- なぜ今、「消費税引き上げ」なの？
- 社会保障制度と国の財政の関係とは？

こんな疑問について考える特別セミナーを開催します。ぜひご参加ください。(受講無料)

日時 平成24年5月23日(水) 14:40~16:10

場所 福井県立大学共通講義棟L109教室

(吉田郡永平寺町松岡兼定島 4-1-1)

テーマ 「50年後の社会を考える」 ～社会保障と税の一体改革～

講師 財務省 広報室長 瀧波 宏文 氏(福井県大野市出身)

【講義概要】

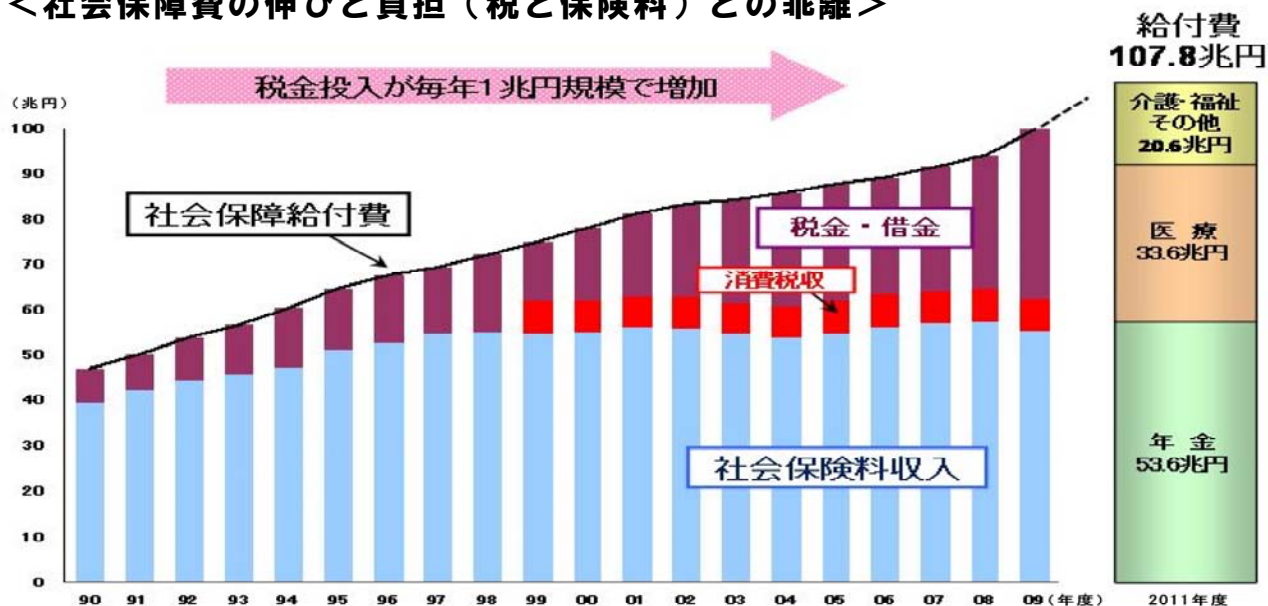
現在の社会保障制度が整備されてからすでに半世紀が経ち、少子高齢化の進行など、日本の経済社会を取り巻く環境が変化するにつれ、社会保障制度とそれを支える財政の持続可能性には、大きな懸念が投げかけられている状況です。

現在、政府が掲げる「社会保障と税の一体改革」は、こうした状況の中、安心して生活できる社会を将来に引き継いでいく1つの選択肢として出されたものであり、私たち一人一人の生活に深く関わるものです。一方で、「消費税の引き上げ」が注目を浴びすぎて、本来の改革の中身や趣旨に関心が向かっていない点も気になります。

特に、すでに大きく累積してしまっている公債をどうするのかという「財政の持続可能性」と安心して暮らせるかどうかという「社会の持続可能性」がどのように両立するのか、今回の改革案が果たして本当の意味で「全世代対応型」になっているのか、負担を増やすにしてもその手段として「消費税増税」が妥当かどうかなど、慎重な検討が必要なところです。そのためには、抽象的なレベルでの社会保障や税の理論とともに具体的に掲げられている施策との間での議論のすり合わせが求められるところです。

そこで、今回の特別セミナーでは、地元出身の財務省の現役幹部をゲスト講師としてお迎えし、改革が求められる背景や、改革案の争点について、(将来の社会を担う)学生との間で活発な意見交換(質疑応答)を予定しています。

<社会保障費の伸びと負担(税と保険料)との乖離>



事前申込み不要です。当日会場に直接お越しください。

(問い合わせ先：福井県立大学 経営企画課 0776-61-6000 内線 1011)